

平成26年3月期決算の概要①【損益の状況】

1. 足利ホールディングス連結

◇連結粗利益は、足利銀行の業務粗利益が前年を下回ったものの、劣後ローンの支払利息減少等により、前年比+1億円の823億円となりました。営業経費は575億円(同比▲6億円)に減少しました。
 ◇与信関係費用は78億円となりましたが、株式等損益111億円を計上したこと等により、経常利益は282億円(同比+95億円)、当期純利益は243億円(同比+89億円)に、それぞれ増加いたしました。

(単位：億円)

	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	25/3期比
連結粗利益	831	822	823	▲1
営業経費(▲)	624	581	575	▲6
与信関係費用(▲)	50	56	78	▲21
株式等損益	5	▲12	111	▲124
経常利益	172	186	282	▲95
法人税等合計(▲)	(+)▲1	29	36	▲6
当期純利益	171	154	243	▲89

2. 足利銀行単体

◇業務粗利益は、国債等債券損益の減少(同比▲42億円)等により、799億円(前年比▲11億円)となりました。なお、資金利益(同比+10億円)と役務取引等利益(同比+22億円)は増加しており、国債等債券損益を除いたコア業務粗利益は786億円(同比+31億円)に増加となりました。
 ◇経費が489億円(同比▲7億円)に減少し、コア業務純益は296億円(同比+38億円)となりました。
 ◇与信関係費用は、保守的な引当等により74億円(同比+28億円)となりましたが、保有株式の一部売却による株式等損益123億円を計上したこと等から、経常利益は354億円(同比+85億円)に増加いたしました。また、当期純利益は321億円(同比+75億円)に増加いたしました。

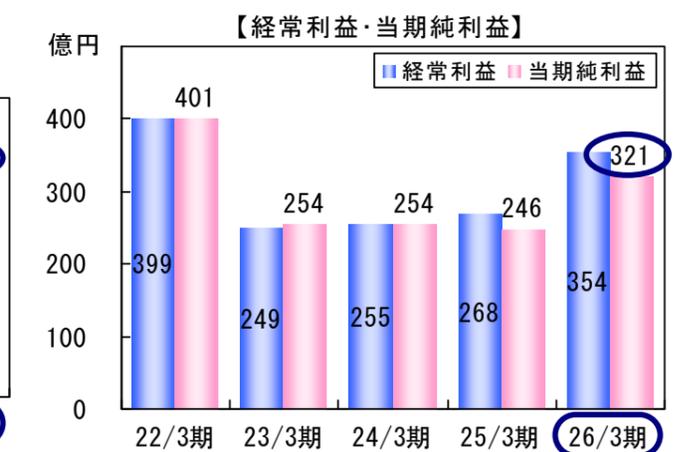
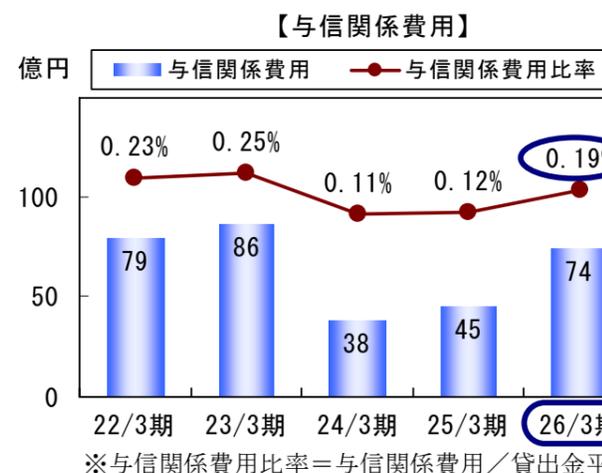
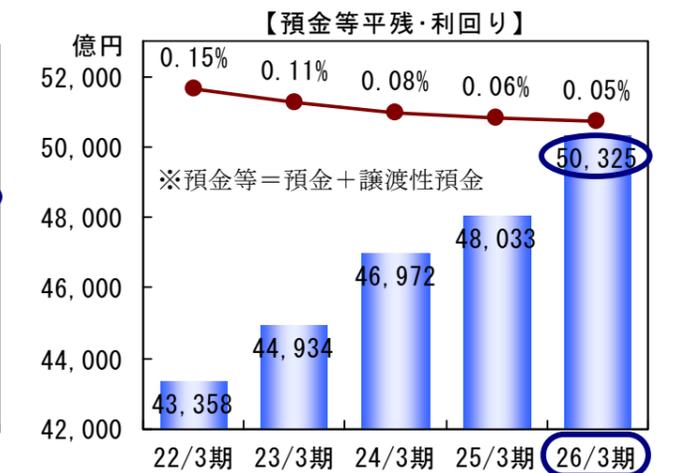
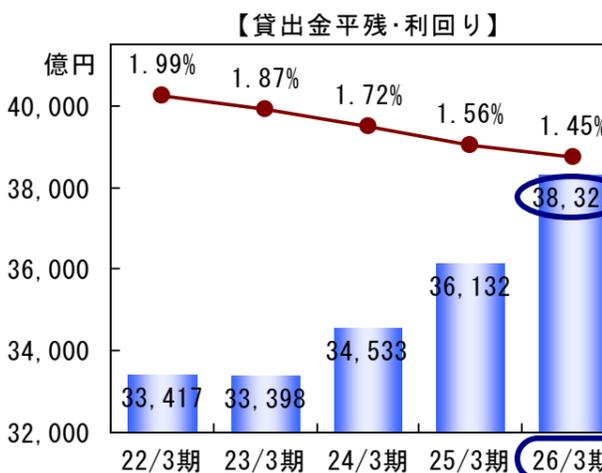
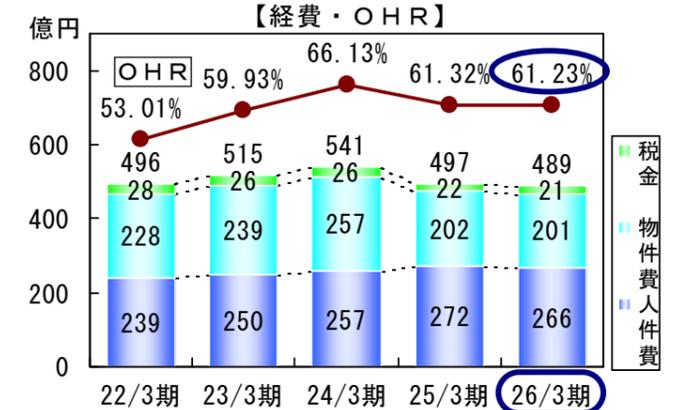
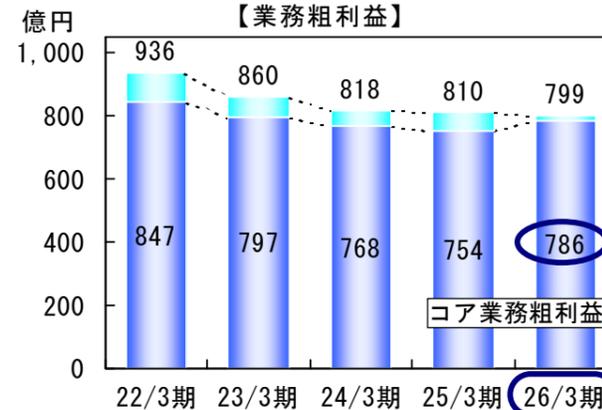
(単位：億円)

	24/3期 実績	25/3期 実績	26/3期 実績	25/3期比
業務粗利益	818	810	799	▲11
資金利益	653	627	638	▲10
役務取引等利益	106	121	143	▲22
その他業務利益	58	61	17	▲44
国債等債券損益	49	56	13	▲42
経費(▲)	541	497	489	▲7
人件費(▲)	257	272	266	▲5
物件費(▲)	257	202	201	▲1
実質業務純益	277	313	310	▲3
コア業務純益	227	257	296	▲38
一般貸倒引当金繰入額(▲) ①	(+)▲25	(+)▲87	36	(-)124
業務純益	303	400	273	▲127
臨時損益	▲47	▲131	81	▲212
不良債権処理額(▲) ②	75	145	53	▲92
償却債権取立益・貸倒引当金戻入益 ③	10	13	16	▲2
株式等損益	17	▲7	123	▲131
経常利益	255	268	354	▲85
特別損益	▲1	▲2	▲4	▲2
法人税等合計(▲)	(+)▲0	20	28	▲7
当期純利益	254	246	321	▲75

(注) 与信関係費用=①+②-③

与信関係費用(注)(▲)	38	45	74	▲28
--------------	----	----	----	-----

3. 主な計数の推移(銀行単体)



4. 業績予想

【足利ホールディングス連結】

(単位：億円)

	25/9期 実績	26/9期 予想	前年同期比	26/3期 実績	27/3期 予想	前年度比
経常収益	565	450	▲115	1,080	920	▲160
経常利益	162	80	▲82	282	180	▲102
当期純利益	185	40	▲145	243	150	▲93

平成26年3月期決算の概要②【主要勘定（銀行単体）】

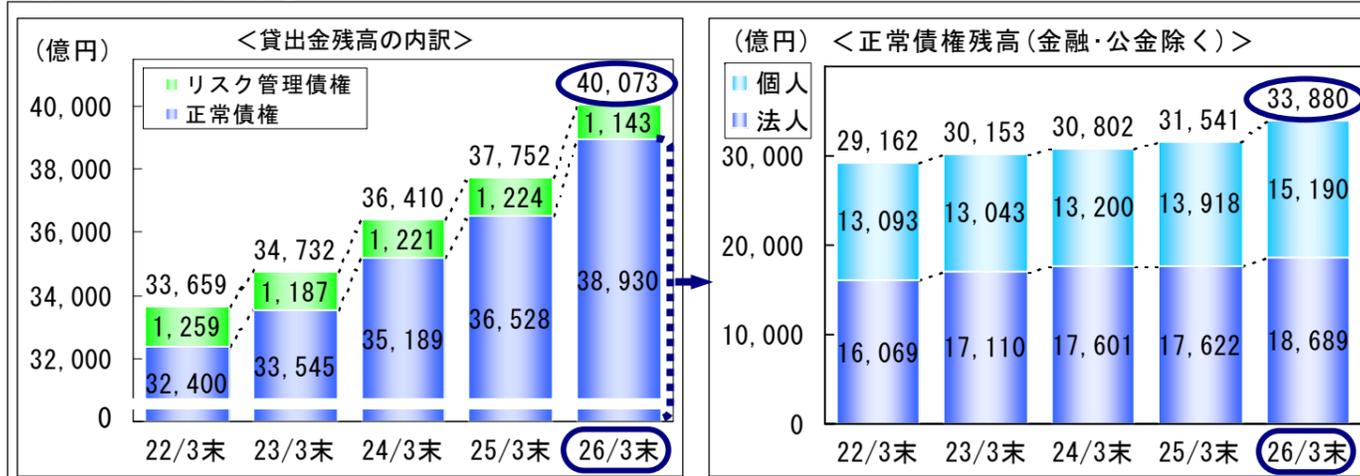
1. 貸出金

- 貸出金残高は前年比+2,320億円の4兆73億円(年増率6.1%)となりました。住宅ローンを中心に個人貸出が同比+1,255億円の増加となったほか、新規融資への積極的な取組みにより、法人貸出についても同比+1,003億円の増加となりました。
- 住宅ローンは、残高が1兆4,251億円(同比+1,266億円)、件数が91,394件(同比+4,929件)に、それぞれ増加となりました。
- 法人融資先数(要管理先以上)は、21,658先(同比+330先)に増加となりました。

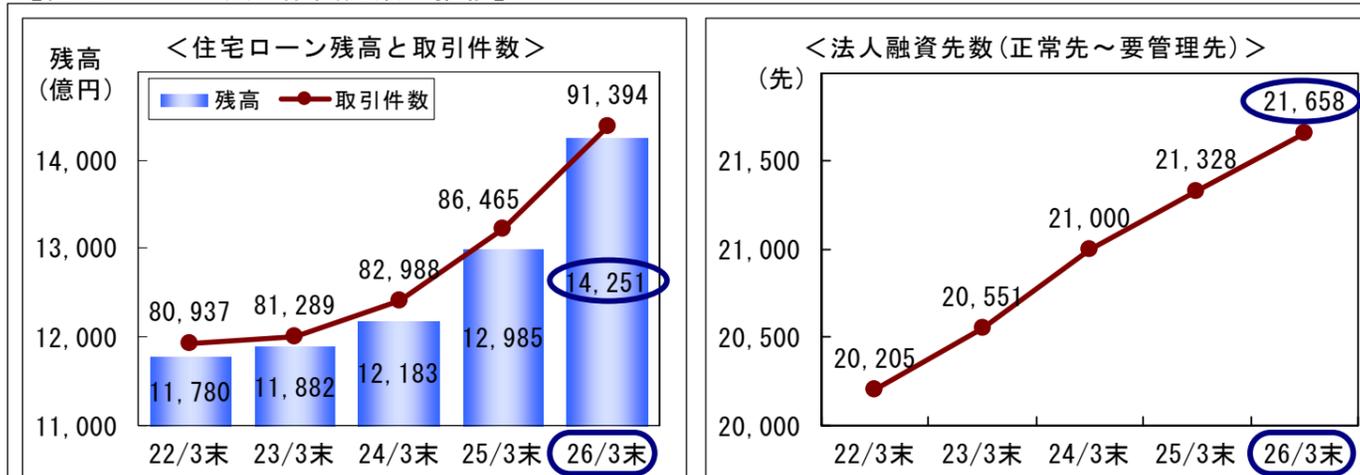
(単位：億円)

	24/3末	25/3末	26/3末	25/3末比	(年増率)
貸出金(末残)	36,410	37,752	40,073	2,320	6.1%
個人貸出	13,477	14,194	15,449	1,255	8.8%
うち正常債権	13,200	13,918	15,190	1,272	9.1%
法人貸出	18,545	18,570	19,573	1,003	5.4%
うち正常債権	17,601	17,622	18,689	1,067	6.0%
公金+金融	4,386	4,987	5,049	62	1.2%
(個人ローン)					
個人ローン	12,539	13,318	14,580	1,261	9.4%
うち住宅ローン	12,183	12,985	14,251	1,266	9.7%

【貸出金残高の推移】



【住宅ローン・法人融資先数の推移】



2. 預金・個人預り資産

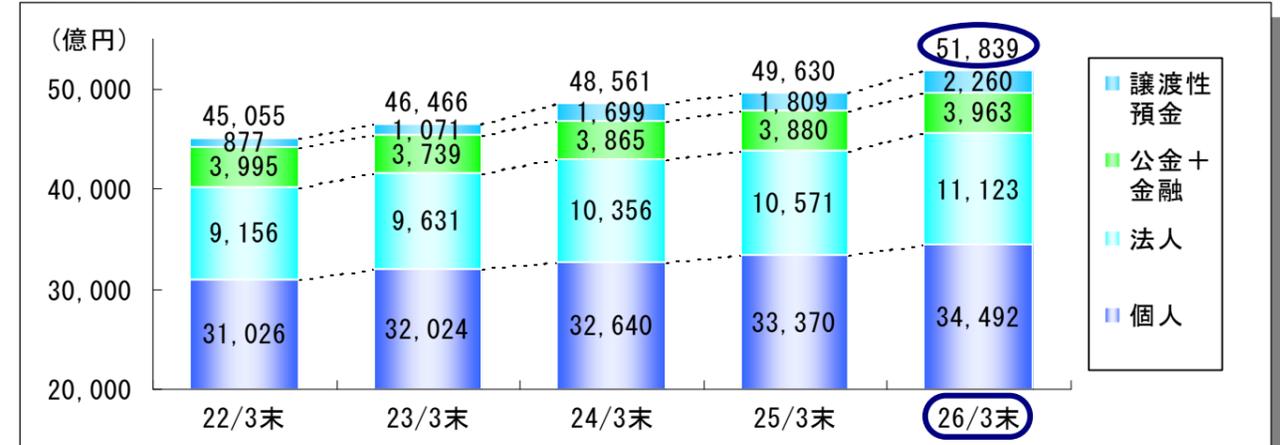
- 預金等残高(預金+譲渡性預金)は、前年比+2,208億円の5兆1,839億円(年増率4.4%)となりました。個人預金が同比+1,122億円(年増率3.3%)、法人預金が同比+551億円(年増率5.2%)と、それぞれ堅調に増加しました。
- 個人預り資産は、投信と保険が増加しましたが、債券の減少により6,983億円(同比▲46億円)となりました。なお、個人預金とあわせた個人金融資産残高は、4兆1,476億円(同比+1,075億円)に増加いたしました。

(単位：億円)

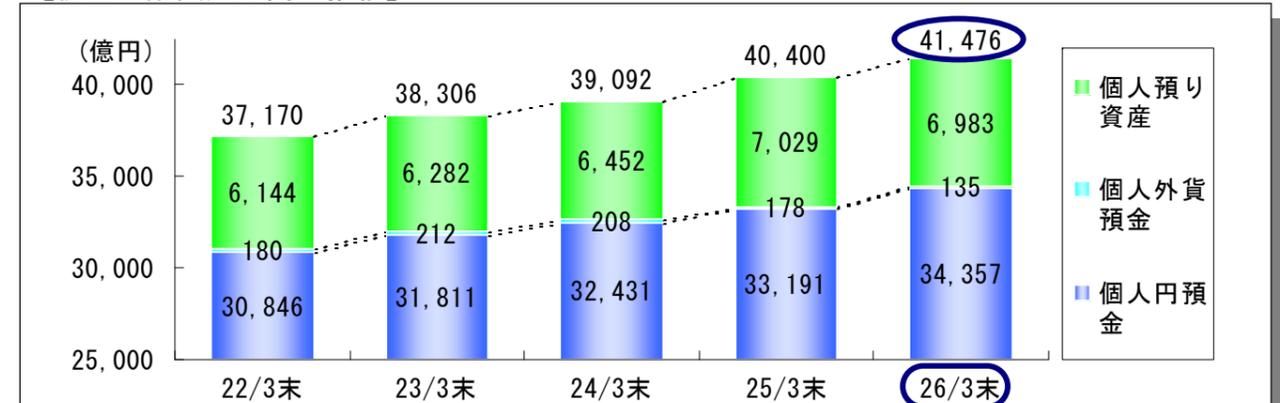
	24/3末	25/3末	26/3末	25/3末比	(年増率)
預金等残高(末残)	48,561	49,630	51,839	2,208	4.4%
預金(末残)	46,862	47,821	49,578	1,757	3.6%
個人預金	32,640	33,370	34,492	1,122	3.3%
法人預金	10,356	10,571	11,123	551	5.2%
公金+金融	3,865	3,880	3,963	83	2.1%
譲渡性預金(末残)	1,699	1,809	2,260	451	24.9%
(個人預り資産)					
個人預り資産	6,452	7,029	6,983	▲46	-0.6%
投資信託	2,328	2,698	2,820	121	4.5%
債券(約定ベース)	1,941	1,741	1,434	▲306	-17.6%
保険※	2,182	2,589	2,728	138	5.3%

※保険＝個人年金保険＋終身保険＋学資保険

【預金等残高の推移】



【個人金融資産残高の推移】



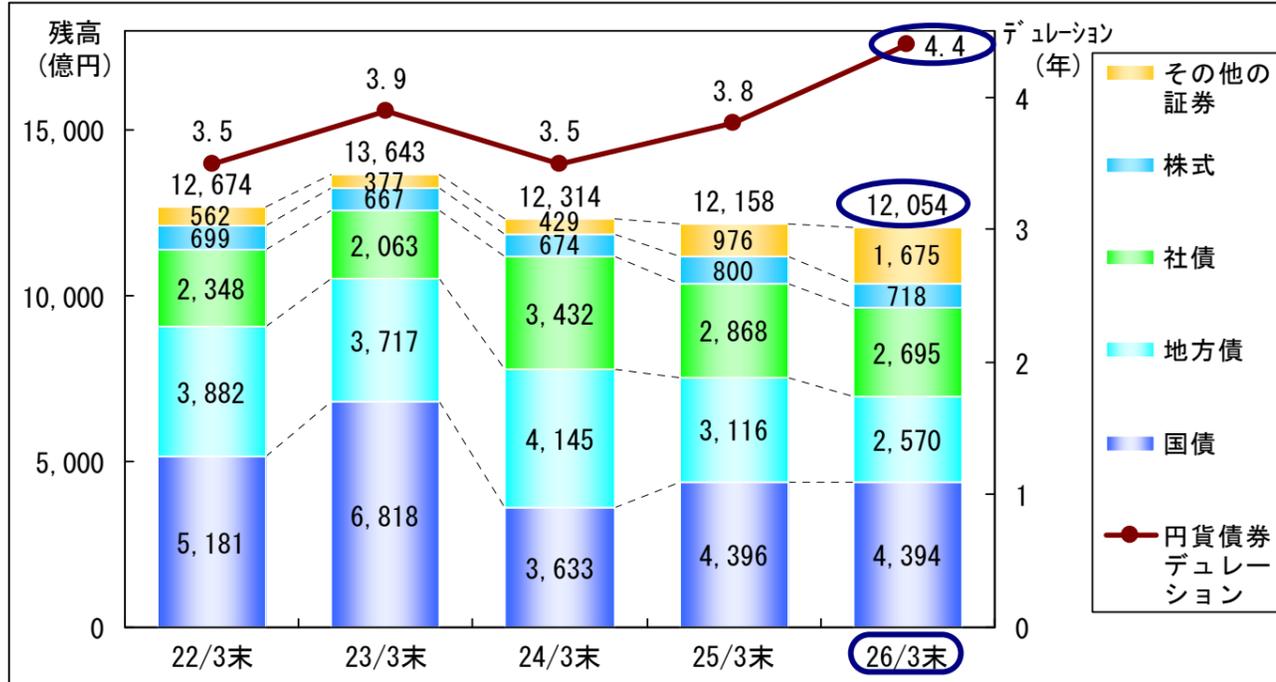
平成26年3月期決算の概要③【有価証券・不良債権・自己資本比率】

1. 有価証券の状況

(1) 有価証券残高・円貨債券デュレーション（銀行単体）

- ・有価証券残高は、1兆2,054億円(H25/3末比▲104億円)となりました。
- ・債券は、国債が4,394億円(同比▲2億円)、地方債が2,570億円(同比▲546億円)、社債が2,695億円(同比▲172億円)と、いずれも減少いたしました。円貨債券のデュレーションは4.4年となりました。
- ・株式は、株価上昇を受けて保有銘柄の一部売却を行ったことから、718億円(同比▲81億円)となりました。
- ・その他の証券は、外国債券の積み増し等により、1,675億円(同比+698億円)となりました。

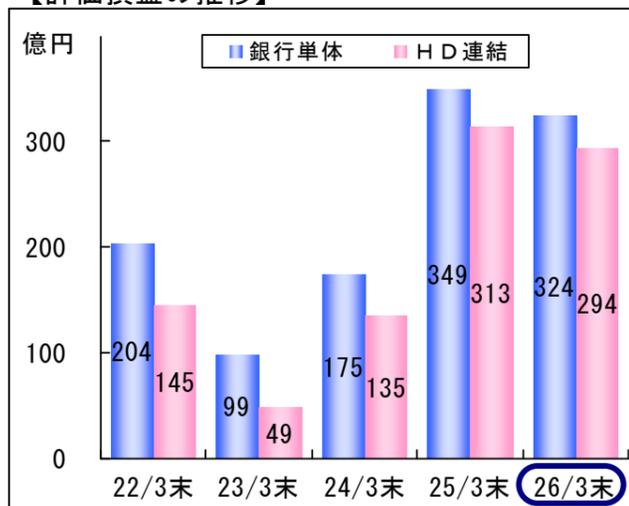
【有価証券残高と円貨債券デュレーションの推移】 ※円貨債券＝国内債券＋円建外国証券



(2) 「その他有価証券」の評価損益

- ・金利上昇により債券評価益が減少したほか、保有株式の一部を売却したこと等により、銀行単体が324億円のプラス(H25/3末比▲25億円)、HD連結が294億円のプラス(同比▲18億円)となりました。

【評価損益の推移】



【銀行単体ベース】 (単位: 億円)

	25/3末	26/3末	25/3末比
評価損益	349	324	▲25
債券	115	65	▲49
株式	233	231	▲2
その他	0	27	26

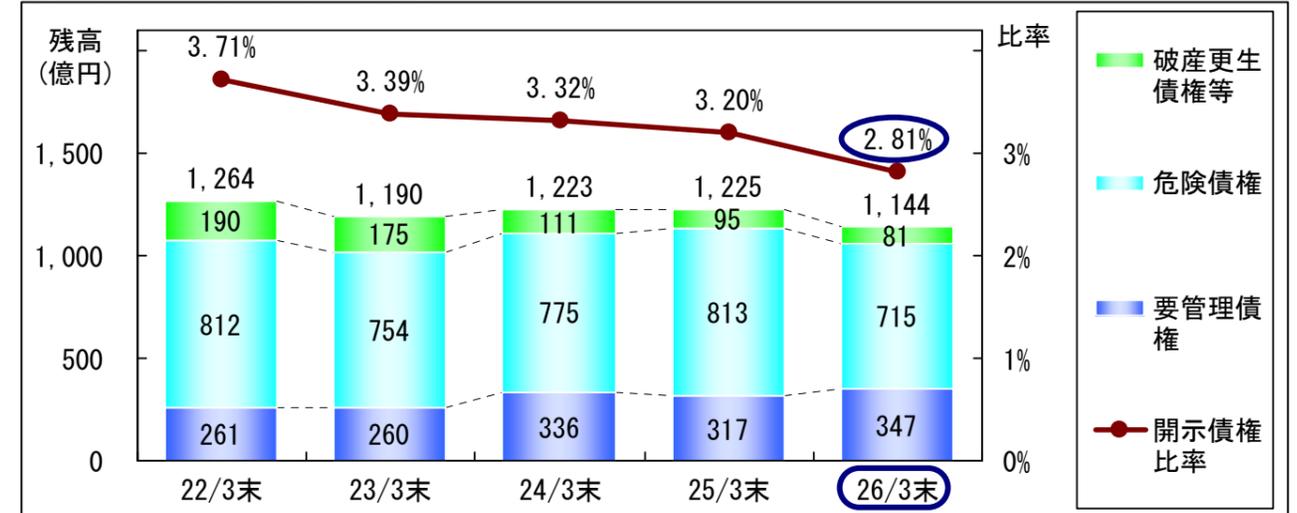
【HD連結ベース】 (単位: 億円)

	25/3末	26/3末	25/3末比
評価損益	313	294	▲18
債券	115	65	▲49
株式	185	195	9
その他	12	34	21

2. 不良債権の状況（銀行単体）

- ・不良債権残高は、危険債権の減少等により、1,144億円(H25/3末比▲81億円)に減少いたしました。また、正常債権が大きく増加したこともあり、不良債権比率は2.81%(同比▲0.39%)に低下しました。

【金融再生法開示債権の推移】



3. 自己資本比率

- ・HD連結は、上場に伴う公募増資等による調達(総額249億円)、優先株式の償還(取得総額792億円)等の資本政策を実施したこと等により、自己資本比率(新国内基準)は8.49%となりました。
- ・銀行単体の自己資本比率(新国内基準)は、8.68%となりました。

【26/3末の自己資本比率(新基準)】 (単位: 億円)

項目	26/3末	
	HD連結	銀行単体
コア資本に係る基礎項目の額 (A)	3,231	2,429
コア資本に係る調整項目の額 (B)	883	—
自己資本の額 (A)-(B)	2,347	2,429
リスク・アセット等の額の合計額	27,622	27,965
自己資本比率(新基準)	8.49%	8.68%

【参考: 25/3末の自己資本比率(旧基準)】

項目	25/3末	
	HD連結	銀行単体
基本的項目 a	1,572	2,035
補完的項目等 b	957	164
自己資本額 a+b	2,529	2,199
リスク・アセット	26,064	26,302
自己資本比率	9.70%	8.36%

【自己資本額・自己資本比率の推移】

